



統計アラカルト

熊本の統計情報

令和8年7月17日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

毎年10月18日は「統計の日」！！

皆さんは10月18日が何の日かご存じですか？答えは「統計の日」です！統計の日は、統計の重要性を国民に知っていただき、国が行う統計調査へのより一層の協力を推進することを目的に昭和48年7月3日に制定されました。国や都道府県では「統計の日」を中心として様々な行事やイベントが開催されています。

どうして10月18日なの？

「統計の日」は明治3年9月24日、「府県物産表」に関する太政官布告が公布されたことに由来します。これは日本で初めて行われた近代的な生産統計でした。この日を現代の暦に置き換えた10月18日が「統計の日」として制定されました。

「統計の日」関連行事

「統計の日」の標語とポスター

総務省では「統計の日」の周知を図るため、ポスターをはじめとする広報活動に広く活用するための標語を毎年募集しています。今年度は13,173点の応募があり、その中から6作品が入選に選ばれました。ポスターの完成が待ち遠しいですね！次回の募集の際には、皆さんも応募してみてくださいはいかがでしょうか？

令和8年度「統計の日」標語入選作品

【特選作品】

今をデータに、未来をカタチに。（高校生の部）

【佳作作品】

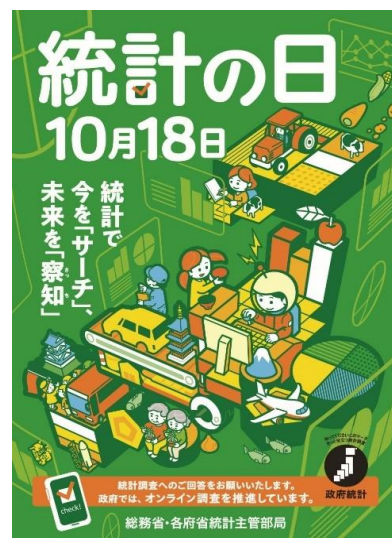
統計を 活かして変えよう 僕らの未来（小学生の部）

データは語る。読み取る力が未来をつくる。（中学生の部）

データから ひも解く現状 つながる未来（一般の部）

統計で知る、調査で見える、暮らしと社会（統計調査員の部）

小さなデータ、大きな力。あなたの協力が社会を変える（公務員の部）



令和7年度 統計の日ポスター

統計データ・グラフフェア

統計データ・グラフフェアは、「統計の日」である10月18日に合わせて、統計に対する理解と関心を深めていただくために毎年東京都で開催されています。「統計の日」関連の展示や国が行う統計調査の紹介、「統計グラフ全国コンクール」入賞作品の展示、各都道府県が製作した統計ポスターの展示など様々な企画が行われています。だれでも気軽に入場できますので、興味のある方はぜひお越しください。

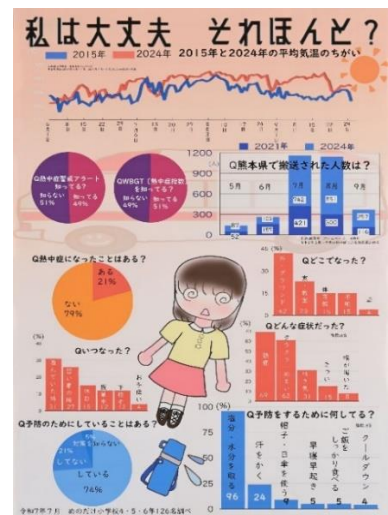
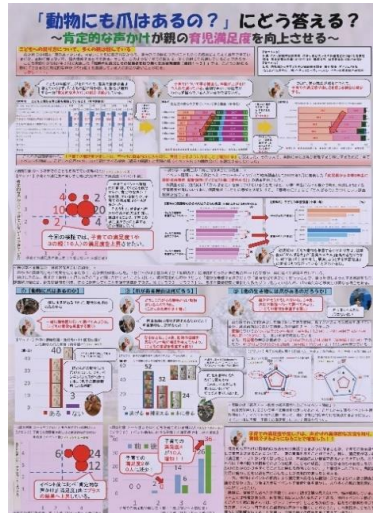
全国統計大会・地方統計大会等

総務省統計局では、「統計の日」に関連する行事として全国統計大会を開催しています。国が行う様々な統計調査で活躍された統計調査員の方々や、調査に協力していただいた企業等への表彰が行われるほか、統計データを用いた研究や行政課題への取り組みの発表、講演会などが行われます。また各都道府県でも地方統計大会や統計功労者表彰式を開催しており、熊本県でも「熊本県統計功労者表彰式」を行い、県内の統計調査で協力いただいた皆様に表彰を行っています。（統計調査に御協力、御尽力されている皆さま、ありがとうございます。）

「統計グラフ全国コンクール」の開催

統計グラフ全国コンクールは、統計グラフの作成を通して統計の重要性を知ってもらうこと、また統計グラフ作成の技術向上と普及を目的として毎年開催されています。今年で74回目となる本コンクールは小学生以上を対象に全6部門で開催されています。令和7年度は全国から20,775作品の応募があり、6作品が特別賞に選ばれました。

熊本県でも「熊本県統計グラフコンクール」を開催しています。昨年度は82作品の応募をいただきました。特別賞に選ばれた作品は熊本県統計功労者表彰式にて表彰を行うほか、特に優れた作品を全国コンクールに出品しており、昨年度は2作品が入賞しました。今年度は9月2日まで作品を募集中。昨年度以上のたくさんの応募をお待ちしています！



第73回熊本県統計グラフコンクール 特別賞受賞作品

世界各国の統計の日

統計の日を定めているのは日本だけではありません。国連統計局（UNSD）によると、現在103の国で統計の日や統計週間を定めているそうです。例えばお隣の韓国では9月1日、インドでは6月29日、ドイツでは9月15日から19日などなど。由来も統計調査が実施された日や著名な学者の誕生日など様々です。統計が国にとっていかに重要なものかわかりますね。

問合せ先：熊本県企画振興部 交通政策・統計局 統計調査課 総務資料班

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話：096-333-2174 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp